

学校名	福島県立相馬総合高等学校		校長	高野 敦史
住所	(本校舎) 〒976-0014 福島県相馬市北飯淵字阿弥陀堂200 (新地校舎) 〒979-2703 福島県相馬郡新地町小川字貝塚西13-1			
TEL	(本校舎) 0244-36-6231 (新地校舎) 0244-62-2009	URL	(本校舎) https://somasogo-h.fcs.ed.jp/ (新地校舎) https://shinchi-h.fcs.ed.jp/	

「何をしたいかだけでなく みなのために出来ること」

*タイトルは校歌の一節です。



相馬東高校と新地高校の統合により新たにスタートした本校は、「文理教養」「スポーツ」「芸術」「生活福祉」「産業ビジネス」の5つの系列からなる総合学科の高校であり、キャリア指導推進校として生徒の幅広い進路希望に対応しています。また、学校を支える3つの柱として、「防災・復興教育」「地域と連携した学び」「生徒一人一人に寄り添った指導体制」を掲げています。

防災・復興教育

東日本大震災では、相馬東高校、新地高校とも津波の被害により亡くなった生徒がいます。統合校においても犠牲となった多くの方々への追悼の意を継承するとともに、「防災・復興教育」に力を入れています。

防災学習オリエンテーション・伝承館等への見学

統合校最初の入学生である1年生は、阪神淡路大震災でご自身も被災された前川直哉福島大学准教授から「君が学ぶと世界が変わる～震災・復興を踏まえて～」と題する講演を聞いたり、双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館や浪江町の請戸小学校に実際に足を運んだりするなど、震災や復興について学んでいます。



伝承館での学習風景



今後は、地元の方々との連携を深めながら、地域を学びのフィールドとする様々な学習機会を設けていきます。地域の現状や課題を知り、課題解決のために自分たちができることは何かを考え、学びを深めていこうとする取組は、すでに始まっています。

防水板設置訓練

本校舎は令和元年の台風19号で床上浸水となり、施設の復旧だけでなく、通常の授業が実施できない状況となるなど、大きな被害を受けました。本年3月には浸水被害防止のために校舎全体を取り囲むように防水板を設置できる環境が整備され、6月の避難訓練の際に、当時の状況をあらためて確認した上で、本校舎の生徒全員で防水板の設置訓練を行いました。



全校生で防水板の設置中



設置完了後の防水板

両校舎合同での行事

本校舎と新地校舎を合わせて17クラス、550名を超える両校舎の生徒が一堂に会する機会はなかなかありませんが、6月に両校舎の生徒全員での初めての学校行事として芸術鑑賞『ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち』を実施しました。



相馬市民会館に両校舎全員が集まりました